



糸線川分水碑を熱心に見学する参加者

下妻ゆかりの政治家、実業家、教育者である飯村丈三郎（黒駒出身）の生誕160周年を記念した講演会とゆかりの地巡りが5月10日に開催され、参加した市民20人が郷土の発展に貢献した偉人の功績を熱心に学びました。

講演会では、飯村丈三郎研究家の富山章一氏が「飯村丈三郎翁の業績とその人物について」と題して講話し、衆議院議員の政治家時代、第六十二銀行（現・常陽銀行）、いはらき新聞社（現・茨城新聞社）の再建、水戸鉄道の敷設（現・JR水戸線）などに尽力した実業家時代、茨城中学校（現・茨城中学校・茨城高等学校）を設立した教育者時代のことなど語り、「丈三郎の生涯は『報恩感謝』の精神に貫かれていた精神を、現代社会に生きる私たちも大いに学ぶ必要がある」と結びました。

ゆかりの地巡りでは、丈三郎の名前が刻まれた糸線川分水碑や生家内部の見学などを行い、参加者からは「飯村丈三郎の名前は知っていたが、さまざまな業績を知り、改めて郷土の偉人といわれるゆえんが分かった」などと感想が寄せられました。

## 郷土の偉人の功績をたたえて 飯村丈三郎生誕160周年記念事業

4月18日から20日までの3日間、小貝川ふれあい公園のネイチャーセンター展示室で、下妻市自然愛護協会が主催する「春の山野草展」が開催され、春を感じる可憐な草花たちが来場者を魅了していました。

会場には、小さな白い花をつけるマイズルソウや、風車の形に似た赤い花のヤグルマソウ、丸くてかわいらしい白花のヤマシャクヤクなど、同会員35人が年間を通じて丹精込めて育てた山野草約300種類413鉢が展示されました。

八千代町から親子3世代で来場した30歳代の女性は「とてもいい香りがします。あまり見かけない花がたくさんあって勉強になります」と気に入った鉢植えの説明を出展者から受けていました。



可憐な山野草に見入る来場者

## 春を感じる可憐な草花たち 春の山野草展

## 掃除から学ぼう

### 第141回茨城掃除に学ぶ会 下妻市立下妻中学校大会

掃除を通して心を磨き、心の力を育てることを目指して活動する「茨城掃除に学ぶ会」と下妻中学校が5月11日、同校1～2年の生徒、全学年の保護者、教職員、茨城掃除に学ぶ会の会員など総勢579人が参加し、同校や市内公共施設のトイレ等の清掃作業が行われました。茨城掃除に学ぶ会の会員の中には、新潟県や山梨県、静岡県などから日帰りでの熱心な参加者も見受けられました。

下妻駅のトイレ清掃を担当した同校1年の境井百花さんは「トイレ掃除と聞いて、初めは少し抵抗があったけど、掃除をしてトイレが綺麗になっていくうちに、抵抗感もなくなり、気持ちが良くなった」と話してくれました。



掃除方法の指導を受け、便器がピカピカになるまで磨き上げる生徒たち

有料広告欄



まちの自慢のポピー畑を地域みんなでアピール

鬼怒フラワーライン（鬼怒川大形橋上流左岸河川敷）の満開のポピー畑が5月14日、NHK水戸放送局・ニュースワイド茨城のまちの自慢を紹介する「44市町村みんなで！いばらナイト」のコーナーで生中継されました。

まちの自慢は、不法投棄などで荒れてしまった河川敷を地域住民の手作りで整備した花畑。花と一万人の会の飯島順一会長は「きれいになった河川敷をこれからも守っていききたい。子どもたちの活躍も期待している。地域の交流の場となっている花畑を皆さんにどんどん利用していただきたい」と花のまち下妻をアピールしました。

## 花のまち下妻をテレビでアピール NHK水戸放送局・ニュースワイド茨城 44市町村みんなで！いばらナイト生中継



泥に足をとられながらも笑顔で田植えする生徒たち

大形小学校の全児童193人が5月7日、鎌庭地内の田んぼで田植えを初体験しました。

同校では、昨年まで5年生がバケツに稲を植えて育てていましたが、「児童たちに本物の米作りを体験させたい」との先生方の思いから、地域の協力を得て、今回の田植えが実現しました。

「ドロドロして動きづらかった」「真っ直ぐに植えたつもりが曲がったり、苗が倒れて大変だった」などと米作りの大変さを実感した児童たちの話が聞けました。

9月には収穫祭が予定され、児童たちは自分たちが手掛けたお米で、おにぎりが食べられることを楽しみにしていました。

## 田植え初体験「米作り」の苦労を実感 大形小学校で田植え体験授業



下妻地区防犯協会と下妻警察署が4月21日、イオンモール下妻で、春の地域安全運動キャンペーンを行い、市内防犯ボランティア団体や下妻ご当地アイドル「しもんchu」、千代川中学校などから約100人が参加し、買い物客などに空き巣や振り込め詐欺などの防犯を呼びかけました。

式典では、稲葉市長が「この地域から被害を1件も出さない意識で、地域と行政が一体となって安心安全なまちを目指していきたい」とあいさつした後、「自転車鍵かけモデル校」に指定された千代川中学校に、下妻警察署の櫻井署長から指定書が交付されました。同校3年で生徒会長の増田竜也さん、副会長の中山結菜さん、生徒会役員の中村果鈴さんの3人が「自転車には必ず鍵をかけます。家族や地域、友人にも家の鍵かけを呼びかけます」などと防犯宣言を行いました。

## 地域の安全を呼びかけ 春の地域安全運動キャンペーン



買い物客に防犯を呼びかける千代川中学校の生徒たち

有料広告欄